



大永英明 (Eimei Onaga) アーティスト・ステートメント

私は作曲家であり画家でもあり、アートの持つ魔法のような世界からインスピレーションを得ています。絵画と音楽を融合させることで、より深く、一体感のあるメッセージを伝えられると信じています。絵がひとつの物語を語るように、音楽もまた物語を紡ぎます。

パンデミック前に訪れたアムステルダムで、ゴッホ美術館を訪れ、特別なペインティング・ワークショップに参加したことがきっかけで、高校・大学時代に抱いていた絵画への喜びが再び目覚めました。その後、サンノゼにあるカリフォルニア美術倶楽部 (California Bijutsu Club) に参加し、約5年間にわたって創作活動を行っています。

私の主な制作メディアはアクリルとキャンバスですが、パレットナイフも使い、印象や感情の深みを表現しています。最近ではインクと水彩を使った新たなスタイルにも挑戦しており、流動性と透明感を活かした新しい表現を探索しています。色彩は私の作品において重要な役割を果たし、それぞれの作品のムードとエネルギーを形づくっています。

作品のジャンルは風景、静物、肖像、シュルレアリスム、抽象と多岐にわたります。一見すると統一性がないように見えるかもしれませんが、私にとってジャンルは単なるスタイルではなく、伝えたい物語を紡ぐための手段だと考えています。

2019年、2022年、2023年にはカリフォルニア美術クラブの展示会に作品を出展し、2024年にはCoastal Arts League主催の「A Moment in Time」、「Anything Goes」、「In the Garden」展において複数の作品が選出されました。

私の創作プロセスは、心を動かすオブジェやテーマとの出会いから始まります。そこから物語を組み立て、感情を含め、作品を通してストーリーテラーとしての役割を果たしていきます。私の絵画を通して、その背後にある物語を皆さん自身の想像力で楽しんでいただけたら嬉しいです。

将来に向けての私の夢は、絵画に寄り添う音楽を作曲し、視覚と聴覚が調和することで、より深く、より没入感のある芸術体験を生み出すことです。さらに、各作品ごとに歌詞をつけたり、曲をつけたりして、絵（視覚）、歌詞（リズムと言葉）、体験（心に残る時間）をひとつにまとめ、「目と心で旅をするアート」を創り出したいと考えています。



eimei99@gmail.com



<https://www.facebook.com/eimeionagaart/>



https://www.instagram.com/eimei_art/